

4:スポーツ施設エスキース作図手順(課題分析帖より抜粋)

4-1 ESTEP-00 ポイント(約 5 分程度)

スポーツ施設の問題文読解のポイントは、8月17日段階では下記の5点です。
常に自身の基準点を作り、それをモノサシにして、どんなタイプのスポーツ施設なのかを想定しておくことで、
①手戻りが少ない②検討事項が少ないエスキース手順となります。

1) 公共施設系か商業施設系か

・これはI.設計条件とロケーションとを確認します。

2) スポーツ公園等の主入口以外のアプローチ

・グラウンド等のアプローチによって、屋外施設利用が見込まれる可能性があります。

3-1) スパン決定要因の把握-①敷地の大きさ

・42m×28mの最大建築面積が取れる敷地なのかそうでないのかを確認します。

3-2) スパン決定要因の把握-②要求室の数値系

・もしかすると40m²系でも50m²系でもないかもしれませんが、必ず確認します。

3-3) スパン決定要因の把握-③プールサイズ

・プールは適宜で出題される可能性があり、またプールサイズにあわせてスパンを決定する可能性がありますので要注意。最初に観ておきます。

4) その他柱抜きの大空間・屋外施設

・最大建築面積に関わる屋外施設、及び100m²以上で無柱空間をするべき集会系の室があれば確認しておきます。

この4つを読み込んだ段階で本試験のプロトタイプイメージをやっておきましょう。
毎回、問題を解く際の所見はこのチェックをやるように心がけてください。